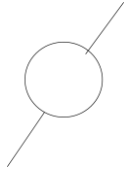


■ 第1回文章力講座

ご存じのとおり3年後の大学入試から、文章力を問う問題が圧倒的に増えてきます。国語だけでなく、数学や理科、英語、社会など全てに渡って、一問一答式の問題は消え、教科横断的な問題や、思考力、文章力を問う問題がすでに増えてきているようです。この文章力や表現力は1年や2年で身に付くものではありません。そこで、本校では中学から学校全体で取り組むことにしました。

6月17日(土)に、第1回目の文章力講座を開始し、「ブレインストーミング」という手法を体験しました。



これはアイデアや記憶などを取り出す方法のひとつとされています。これを活用することによって、文章作りの能力がアップするのだそうです。まず、左の図を見せて思いつくものなるべく多く挙げさせる中で、子どもたちは「ユニークなアイデアはすぐには出ない。」ということに気づきます。「もっとほかはないか」「もっと別なはないか」と言われて、苦しまぎれに考えついたことから面白いものがでてくるのです。これが、ブレインストーミングです。



次に、最近の推薦入試、AO入試小論文のテーマ課題一覧に目を通し、数年後にどんな小論文を書かなければならないかを知りました。その後、先生方によるブレインストーミングを用いた文章作成の実例を見た後、2枚の絵から1枚を選んで、思いついたことを箇条書きに書き出し、それを使って文章を作り、互いに発表し合いました。そんな流れの中で、生き生きと活動している生徒たちの姿が印象的でした。

